

# 小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



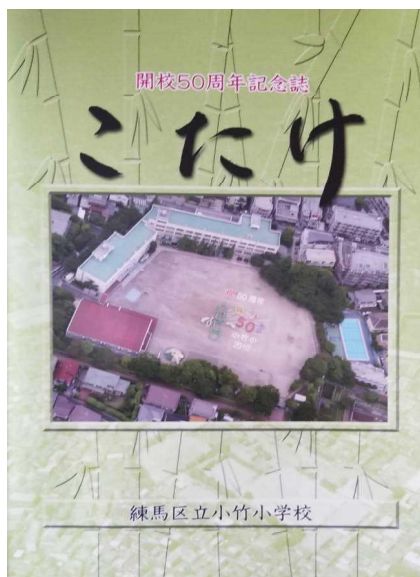
開校60周年臨時号

R2.10 No. 565

”かがやく笑顔 あふれる希望 未来へつなごう 小竹のバトン”

## 小竹小学校 50周年 記念誌より

校長 佐藤 正文



◇令和2年9月4日、毎年3年生の子供たちに昔のお話をしていただいている小竹町会副会長の小宮秀一様にお越しいただき、小竹小学校の開設時の話をお聞きしました。この広い校地を提供していただいた方々やその経緯、グラウンドで野球ができるようになったエピソード、昔の風景等、短い時間でしたが大変参考になるお話でした。

◇10月10日には、開校10周年時PTA会長（第7代）の砂本清一郎様（20周年行事实行委員長）にお会いすることができました。式典には出席できないとのことで、本校にお見えになりました。PTA会長として保護者の方々をまとめ、様々な工夫をされていたことや三六道路着工前からの苦勞されたお話をお聞きすることができました。

砂本様からは、当時の竹野栄教頭先生（児童文学作家）が出版された全作品を小竹小の学校図書館に寄贈していただきました。

◇小竹小学校の校歌は昭和38年（1963年）体育館竣工式で披露されました。校歌制定前には、6年生が創った歌を歌っていたことが、5周年記念誌の記事にありました。先日、その「小竹子どものうた」を作詞作曲した第1回の卒業生の方と連絡がつかれました。当時、応募した曲の中から選ばれたとのことでした。新しくできたばかりの学校の環境作りに、みんなで協力したこともお聞きしました。その後制定された校歌をぜひ聞いていただきたいです。

貴重なお話を聞かせていただいた皆様、ありがとうございました。

◇さて、節目の50周年記念誌は、地域と小竹小の歩みを今と未来に伝えてくれる貴重な資料です。

■「小竹小50年のあゆみ」…主な出来事を取り上げ、年度ごとにエピソードを添えています。私にとって、今までの記念誌では見つからなかった新たな発見がありました。例えば、今はありませんが、現在のデ

ラックスプリンの横にあった「ブランコ」と「ジャングルネット」です。工事の関係でしょうか、営団地下鉄から寄贈された遊具だということです。

■「地域のあゆみ」…見開きのページには、江戸時代から明治・大正時代、戦前、戦中、戦後の小竹町の様子、昭和20年代、30年代、平成の時代毎にまとめられています。小竹町内に田んぼ、麦畑、大根畑、野菜畑、芝畑、竹やぶや雑木林も見られたこと、江古田駅は今の場所より桜台駅寄りにあり、昭和34年に新築されたこと等、地域の開発が進んでいたことがよくわかりました。

■「伝えたい地域の話」…「くらし」「昔の道具」「あそび」「自然」「西武池袋線」「まちづくり」「小竹の言い伝え」「馬場のぼるさん」をテーマにした内容です。「11ぴきのねこ」シリーズでとても有名な絵本作家馬場のぼるさんは、小竹町会50周年記念誌に記事を投稿されています。当時お住まいだった頃の小竹町の風景をほのぼのとしたイラストで紹介していました。

■「小竹小のまわり 昔と今」…昔の写真を活用し、地域の様子が分かるようなエピソードを添えて編集されています。

「八雲神社は、小竹町の氏神様です。江戸時代の初め頃は、厄除け・魔除け・農業の守り神としておまつりしたことが始まりと言われています。」「昭和20年代頃の江古田駅。女性達の服装に時代を感じます。」

「昭和34年頃の江古田駅の入り口は南側だけでした。踏切には遮断機を上げ下げする係の人がいました。」「小竹小は旭丘小から独立しましたが、さらに元をたどると、板橋区立上板橋小までさかのぼれます。」

そして、麦畑の中でかわいらしく立っている2人の女の子の写真があります。馬場のぼるさんが描いた絵とよく似ています。のどかな風景です。地域の活動とPTA活動のページもあります。テーマは「みんなで寿ことほぐ開校50周年 おめでとう小竹小学校」「保護者と先生、地域がふれあい心をつなぎあうPTA活動」です。そして、保護者・先生・地域の協力で進める～課外活動～を紹介しています。

開校50周年実行委員長は当時の小竹町会長の松本春雄様、校長は第14代中山徹先生。副校長は宮野いづみ先生。前年の準備の年は、第13代校長森政一先生でした。小竹小学校の行事の時には、来校され子供たちの姿を見ていただいています。

現在小竹小学校に勤務している職員の中には、50周年を祝った先生方もおり、時々10年前の学校の様子や卒業生の話題になります。40周年から50周年までの間には、コンピュータの導入、冷暖房機器、冷水器の設置がありました。耐震工事もされました。社会情勢による時代の変化と共に教育環境への対応が進んだ時代ではないでしょうか。そして、50周年から60周年を迎える2020年がやってきました。力を合わせて何事にも乗り超える力をもつ小竹小学校がいよいよ60歳を迎えます。



【たけちゃん】



【のこちゃん】

